

令和2年度
地域福祉・ボランティア・在宅福祉
事業報告集



地域福祉推進のマスコット
のみんちゃん

社会福祉法人能美市社会福祉協議会

令和2年度 地域福祉・ボランティア事業報告集 目次

項 目	ページ
I. 市民の参加と協力を得た組織運営	
①理事会・評議員会の開催	3
②会員会費募集	3
③第3次能美市地域福祉活動計画の推進（3年目）	3
④広報誌の発行やホームページ運営等による情報発信	3
II. 福祉意識の醸成の働きかけ	
⑤社会福祉大会等の開催や福祉意識啓発の活動 ・社会福祉大会 ・春まちぽかぽかプロジェクト	4～6
⑥交流を中心としたふれあい福祉事業 ・聴覚に障がいのある方のつどい「福耳ネット」 ・視覚に障がいのある方のつどい「ぬくもりサロン」 ・こころに寄り添い合う人づくり講座	7
⑦福祉団体や福祉活動グループの活動支援 ・老人クラブ連合会の支援 ・身体障害者福祉協議会の支援 ・母子寡婦福祉連合会の支援 ・民生委員児童委員協議会の支援 ・フードドライブ連絡会の支援 ・まだまだ元気な高齢者サポートグループ「ほがらか会」の支援 ・のみ社会福祉法人連絡会の支援	7～8
⑧愛の福祉基金	8
III. 地域の支え合い体制づくりの推進	
⑨見守りネットワークの構築	8
⑨-1 地域福祉委員会の活動支援	8～10
⑨-2 福祉推進員及び福祉推進員連絡会の活動支援	10
⑨-3 いきいきサロン等の活動支援	10
⑨-4 一人暮らし高齢者昼食会・おでかけサロンの活動支援	11
⑨-5 ふれあい弁当の実施	11
⑨-6 子育て応援弁当の実施	12
⑨-7 学習応援弁当の実施	12
⑨-8 産前・産後子育て応援ヘルパーの派遣	12
⑨-9 音訳テープの提供	12
⑨-10 傾聴ボランティアの派遣と活動支援	12
⑨-11 能美市民防災ネットワークの活動支援	13
⑨-12 歳末時のお見舞金の贈呈	13
⑩生活支援体制の基盤整備と生活支援の取り組み	13
⑩-1 生活支援コーディネーターの配置	13

項 目	ページ
⑩-2 つなぐ号貸出事業の実施（買い物・外出支援活動の支援）	13
⑩-3 フードドライブの実施とフードドライブ連絡会の設立・活動支援	13～14
⑩-4 たすけあい・ライフサポーター活動支援講座の開催	14
⑪同じ立場の方々の支え合いや交流活動の支援 ・ほっとあんしんサロン ・親子サロンとママ友相談	14
⑫ボランティア・コミュニティ活動支援センターの運営	15
⑫-1 登録・ニーズ受付・相談・斡旋・保険加入 《登録グループ一覧》	15 16～19
⑫-2 ボランティア講座の開催	20～21
⑫-3 災害ボランティアセンターの運営研修会の開催	21
⑫-4 ありがとう！笑顔と元気のメッセージパネル展示の開催	21
⑫-5 ボランティアグループ及びコミュニティ活動団体活動支援（助成金）	22
⑫-6 福祉協力校の活動支援	23
⑫-7 能美市ボランティア連絡協議会の活動支援	23
⑫-8 ボランティア情報発信	23
⑫-9 ボランティア器材の貸出し＜用品一覧＞	24
⑫-10 ボランティア・コミュニティ活動支援センターが 窓口となっている収集物について	25
⑬ファミリー・サポート・センターの運営	26
⑭老人福祉センター等の指定管理、運営	27
IV. 寺井あんしん相談センターの運営	
⑮高齢者や障がい者、生活困窮者等の総合相談窓口	27～28
V. 暮らしサポートセンターのみ の運営	
⑯生活困窮者自立支援事業（食糧支援含む）	28～29
⑰福祉サービス利用援助事業	29
⑱安全・安心のための各種相談	30
⑱-1 心配ごと相談	30
⑱-2 弁護士無料法律相談	30
⑱-3 行政書士無料相談	30
⑱-4 能美市福祉資金	31
⑱-5 石川県生活福祉資金	31
VI. 在宅福祉サービスの提供	
⑲福祉移送サービス（外出支援サービス）	32
⑳たすけあい・ライフサポーター（訪問型サービスB）派遣事業	32
VII. 能美市社会福祉協議会 お問い合わせ先一覧	

I 市民の参加と協力を得た組織運営

① 理事会・評議員会の開催

理事会、評議員会や役職員研修を開催し、市民が参加協力して地域福祉を推進する団体である社会福祉協議会を運営し、協議し合う機会をつくった。

理事会	(第65回～68回)	4回開催
評議員会	(第61回～64回)	4回開催
監査会		1回開催

② 会員会費募集

新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、推進月間を設けず、9月より募集を開始した。地域福祉充実のための財源として活用した。

正会員実績	個人会員数	836名	金額	836,000円
	組織・団体・法人	83団体		415,000円
賛助会員実績	個人会員数	3,531名		1,888,360円
	企業・団体	214団体		788,000円
	総額	3,927,360円		

③ 第3次能美市地域福祉活動計画の推進(3年目)

多くの市民の参加と協力を得て、第3次能美市地域福祉活動計画(2018年～2022年)の3年目を推進した。

第3次計画を推進する2委員会

- 推進する2つの委員会・・・20回開催(各10回)
 - ・ここに寄り添い合う人づくり委員会
 - ・見守り・助け合い推進委員会

第3次計画こころ豊かな地域づくりの会、評価委員会

- こころ豊かな地域づくりの会・・・4回開催
- 評価委員会・・・2回開催(初回のみこころ豊かな地域づくりの会と合同開催)

※市民への報告の機会・・・「春 まち ぽかぽか プロジェクト」(5頁掲載)

2月21日(日)～2月28日(日)の間、第3次計画に関する報告の機会として4プログラムを実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、規模を縮小して開催。)感染予防対策をとり、会場定員を設置。4プログラムの参加者は185人

④ 広報誌の発行やホームページ運営等による情報発信

社協広報誌「ほほえみ」の発行(年4回)やホームページを運営し、地域福祉活動やボランティア活動の啓発と情報を発信した。

- ・第60号(6月1日発行)・・・令和2年度事業計画・会計収支予算他
- ・第61号(9月1日発行)・・・令和元年度事業報告・収支決算、社会福祉法人連絡会設立総会他
- ・第62号(12月1日発行)・・・能美市社会福祉大会、石川県社会福祉大会他
- ・第63号(3月1日発行)・・・歳末お見舞金贈呈、心配ごと相談所相談員研修会他

能美市社会福祉協議会誕生15周年記念 地域福祉推進マスコット「のみんなちゃん」をリニューアル。

地域福祉推進のマスコットである“のみんなちゃん”の着ぐるみを、能美市社会福祉協議会誕生15周年を記念し、今年度、新しく製作した。



Ⅱ 福祉意識の醸成の働きかけ

⑤ 社会福祉大会等の開催や福祉意識啓発の活動

各種大会やつどいを開催し、市民の福祉意識を啓発し、地域での支え合いや助け合いの活動への参加を促した。

大会の名称	期日・会場	参加者数	受賞者一覧
第16回 能美市社会福祉大会	9月25日 (金) 辰口 福祉会館	65名 ※ コロナ禍の為 被表彰者 社協役員・ 評議員のみ	社会福祉功労者等表彰(25名5団体)(敬称略) <u>感謝状</u> <u>4名</u> 山本 多津子 長田 壽博 西田 外喜夫 西出 紀代美 <u>ボランティアグループ</u> <u>1団体</u> 母の会(代表 山崎 綾乃 会員数 11名) <u>社会福祉団体役職員</u> <u>5名</u> 栗山 よしみ (能美市ボランティア連絡協議会) 國分 谷彦 (能美市ボランティア連絡協議会) 中田 紀子 (能美市ボランティア連絡協議会) 佐々木 敦子 (能美市遺族会) 櫻井 隆雄 (能美市遺族会) <u>社会福祉施設役職員</u> <u>16名</u> 西山 淳也(湯寿園) 北口 麻由(湯寿園) 松本 篤美(湯寿園) 高橋 亜紀(一歩) 北村 誠浩(デイサービス零) 石塚 与志生(星が岡牧場) 元木 敬之(ポニール根上苑) 竹本 哲(ポニール根上苑) 松浦 友香(ポニール根上苑) 岡本 友子(ポニール根上苑) 水戸 菜穂美(ポニール根上苑) 西手 奈津姫(ポニール根上苑) 前田 裕子(市保育園) 喜多 一実(市保育園) 向 秀三(市社協) 西出 明美(市社協) <u>奨励賞</u> <u>4団体</u> 倉重町いきいきサロンひさご会 寺井町山道サロンひなたぼっこ 末信町公民館開放・いきいきサロン&カフェ 吉光町いきいきサロン
 受賞された皆様			
 受賞者代表で謝辞を述べる元木氏			

春まちぽかぽかプロジェクト（コロナ禍のため、規模を縮小して開催）

今こそ みんなで助け合う地域の⑤④③

～⑤じゅうでも④ふうで③あわせ～ を企画

私たちは、～with コロナ～感染拡大防止対策をとる中で、日常生活において、いろいろな不自由を感じることが多々あります。しかし、このような状況においても、地域の中では、“ふれあい”や“つながり”の大切さを強く確認し、様々な工夫が生まれてきているはずです。このプロジェクトでは、つながるための工夫を確認し、困難な今こそ、みんなで助け合う地域のふくしを考える機会とします。

春まちぽかぽかプロジェクト
オープニング
10:00～ 開会挨拶
見守り・助け合い推進委員会

今できる 地域の見守り・助け合い ～みんなの知恵で新しいつながりを！～

- 日時：2月21日(日)
10時10分～12時
- 会場：寺井地区公民館 大ホール
(寺井町ヨ47)
- 講師：井岡 仁志 氏
(ローカリズム・ラボ代表)
- 10:10～ 開会挨拶
主旨説明
- 10:15～ 基調講演
「つながるために
できること」
- 11:15～ 報告・事例紹介
- 12:00 閉会挨拶
- *事例を基に、我が町流の
見守り・助け合い活動を考えます。

ここに寄り添い合う 人づくり委員会

障がいな“知る・学ぶ” ここに寄り添い合う人づくり講座 精神に障がいのある方からのメッセージ 「わかってほしい！！」

- 日時：2月23日(火・祝)
10時30分～12時
- 会場：ふれあいプラザ 第1会議室
(寺井町タ8-1)
- 10:30～ 開会挨拶・主旨説明
- 10:40～ 事業所の概要説明
- 10:55～ 障がいサービス利用者の
思いをお話しいただき
ます
- 11:45～ 参加者からの感想等
- 12:00 閉会挨拶
- *社会福祉法人なごみの郷
能美地域活動センター「はまかぜ」
の利用者より、日常で感じている
ことや思いをお話しいただき、障
がいへの理解を深めます。

ここに豊かな地域づくりの会 能美市社会福祉協議会

地域福祉のつどい ～with コロナ 今こそみんなで 助け合う地域のふくし～

- 日時：2月28日(日)
13時30分～15時10分
- 会場：寺井地区公民館 大ホール
(寺井町ヨ47)
- 13:40～ 表彰式・贈呈式
・能美たすかったわ～大賞
・“きらり★福祉の魅力”
フォトコンテスト
・福祉用具贈呈
～根上中学校吹奏楽部ビデオ演奏～
- 14:10～ 2委員会からの報告
- 14:30～ 講演「新型コロナワク
チンについて」
- 15:00～ メッセージ発信
～with コロナ 今こそみんなで
助け合う地域のふくし～
- 15:10 閉会挨拶

パネル展示

ありがとう！笑顔と元気のメッセージ

- 前期 ●日時：2月21日(日)～26日(金) 10時～16時
●会場：能美ふるさとミュージアム (入場無料・22日(月)は休館日)
- 後期 ●日時：2月27日(土)～28日(日) 10時～15時30分
●会場：寺井地区公民館

主催：能美市ボランティア連絡協議会
・能美市内ボランティアグループの活動紹介

主催：のみ社会福祉法人連絡会
・のみ社会福祉法人連絡会 及び 会員法人の紹介

主催：能美市社会福祉協議会

- ・福祉・介護の現場で働く方々の“きらり★福祉の魅力”フォトコンテスト応募作品
- ・能美たすかったわ～大賞 受賞作文
- ・能美市ジュニアボランティアクラブのwithコロナ応援メッセージの絵手紙

フードドライブ

“フードドライブ”とは、ご家庭で眠っている食品を持ち寄り、**ありがとう**へ必要としている方々に寄付する活動です。

【実施日時】令和3年2月28日(日)10時～12時
【受付会場】寺井地区公民館 (寺井町ヨ47)
★賞味・消費期限が1か月以上残っている未開封の
常温保存食品

※ご寄付いただいた食品は、支援を必要として
いる方や子ども食堂等にお配りします。

主催：社会福祉法人能美市社会福祉協議会

共催：のみフードドライブ連絡会

協力：能美市ボランティア連絡協議会

ぽかぽかコンサート

- ・寺井老人福祉センター亀齢荘
開催日：3月17日(水)
- ・老人福祉センター白寿会館
開催日：3月19日(金)

内容：☑パン販売 (社会福祉法人うめの木学園)
11時～

☞ぽかぽかコンサート

大正琴「柞の花」

13時30分～14時30分

【「能美たすかったわ〜大賞」「きらり★福祉の魅力」フォトコンテスト」の表彰式、車イス贈呈式】

2月28日(日) 13時30分～ 寺井地区公民館

※「能美たすかったわ〜大賞」応募総数479作品（一般96作品 小学生の部383作品）

大賞 兼子 ふみえ 様（金剛寺町）（敬称略）

作品『東京から移住しての大寒波。外国人技能実習生が雪掻きボランティアで助けてくれました。コロナで帰国も叶わず見知らぬ土地で不安を抱える彼らと自分を重ね、私もいつか石川県人とし困った人を支えたいと誓いました。』

一般の部 優秀賞 北 眞由美（金剛寺町）
// 中橋 侑来（根上中学校 2年）
// 三道山子ども食堂（三道山町）

小学生の部 優秀賞 田森 心菜（辰口中央小学校 4年）
// 中西 潤愛（辰口中央小学校 6年）
// 小西 慎飛（栗生小学校 2年）
// 野村 紗楽（寺井小学校 5年）
// 池田 千紘（浜小学校 4年）



市社協伴場会長から受賞者の方へ、表彰状と副賞を贈呈しました。

※「きらり★福祉の魅力」フォトコンテスト」応募総数53作品

最優秀賞 社会福祉法人喜峰会特別養護老人ホームボニジュール根上苑（下ノ江町）

小林 彩希 作品名「メリークリスマス」

優秀賞 特定非営利活動法人 WiWi キッズクラブ（下開発町）

南出 彩乃 作品名「青空に一言」

社会福祉法人陽翠水 介護老人保健施設 陽翠の里（緑が丘）

橋本 明恵 作品名「脱穀」



「メリークリスマス」



「青空に一言」



「脱穀」

※「プルタブを換金した福祉用具」贈呈式

（株）たから海福祉会 デイサービスちいちの華（能美市三ツ屋町96）

地域福祉のつどい

～with コロナ いまこそみんなで助け合う地域のふくし～

※春まちぼかぽかプロジェクト最終日

※第3次能美市地域福祉活動計画の報告会として開催

2月28日

（日）

寺井地区
公民館

94名

第3次能美市地域福祉活動計画の3年目として、春まちぼかぽかプロジェクトでは、コロナ禍で日常生活が困難な今だからこそ、みんなで助け合う地域の福祉を考える機会とした。

★講演「新型コロナワクチンについて」
講師：能美市医師会 会長 木田泰弘氏

★根上中学校吹奏楽部によるビデオ録画での演奏

★2委員会からの報告

- ・ここに寄り添い合う人づくり委員会 津田康則 副委員長
- ・見守り・助け合い推進委員会 藤田珠美 委員長

★メッセージ発信

・ここら豊かな地域づくりの会 栗山よしみ 会長
「コロナ禍の暮らしの中で不自由があっても工夫し、お互いを思いやり助けたり助けられたりしながらみんなで“つながり”支え合っていくことができる能美市にしましょう」とメッセージを発信した。



⑥ 交流を中心としたふれあい福祉事業

交流を中心としたふれあい福祉事業や福祉専門職の資質向上のための交流研修を実施し、地域における「福祉意識」を盛り上げると共に、専門職の力を地域で活かすように働きかけた。

1	聴覚に障がいのある方のつどい 「福耳ネット」 ※耳が聞こえにくい方のつどいの場と、仲間づくりの活動を支援	年間 10 回 第 4 水曜日 寺井地区 公民館 15 名（会員） 延べ 53 名	障害者サービスについての情報交換 「手話サークルめだか」が協力  軽体操をしながら、交流をしました。
2	視覚に障がいのある方のつどい 「ぬくもりサロン」 ※視覚に障がいのある方のつどいの場と、仲間づくりの活動を支援	① 10 月 7 日(水) ふれあいプラザ 7 名 ② 10 月 30 日(金) ふれあいプラザ 7 名 ③ 11 月 30 日(月) ふれあいプラザ 5 名 ④ 12 月 25 日(金) 辰口福祉会館 5 名	交流や障害者サービスにかかる 情報交換 「ボランティアほおずき」が協力  かがやき姉妹のみなさんと交流しながら、楽しい時間を過ごしました。
3	こころに寄り添い合う 人づくり講座 ※「こころに寄り添い合う人づくり委員会」が主催 ※(5 頁掲載)「春 まち ほかほか プロジェクト」 において開催。	2 月 23 日(火・祝) ふれあいプラザ 31 名	障害のある方への理解を深め“相手のことを思い”“気持ちに寄り添った”関わり方を考えてもらう機会として開催 

※ふれあい福祉交流会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止した。

⑦ 福祉団体や福祉活動グループの活動支援

福祉団体、福祉活動グループの組織活動を支援し、市民や団体の会員相互のふれあい交流事業や福祉のまちづくり活動への働きかけ、福祉意識の醸成を図った。

- ・老人クラブ連合会の支援（市連合会と 3 支部の事務局担当）
- ・身体障害者福祉協議会の支援（市協議会と 3 支部の事務局担当）
- ・母子寡婦福祉連合会の支援（事務局担当）
- ・民生委員児童委員協議会の支援（市協議会と 3 地区の事務局担当）
- ・フードドライブ連絡会の支援（事務局担当 13 頁掲載）
- ・まだまだ元気な高齢者サポートグループ「ほがらか会」の支援（事務局担当）

市民提案型協働事業として、根上・寺井・辰口地区ごとに毎週 1 回少し虚弱な高齢者のミニデイサービスを実施している地域のボランティアグループまだまだ元気な高齢者サポートグループ「ほがらか会」の活動を支援しています。

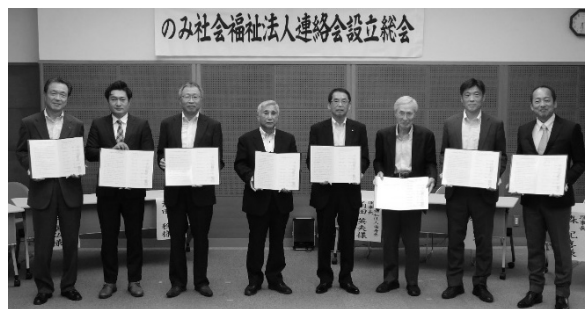
会場（開催曜日）	開催数	利用者数（延べ）	ボランティア数(延べ)	場所
根上会場（毎週木）	33 回	122 名	135 名	老人福祉センター「白寿会館」
寺井会場（毎週金）	38 回	164 名	79 名	寺井老人福祉センター「亀齢荘」
辰口会場（毎週火）	40 回	159 名	84 名	辰口福祉会館
合計	111 回	445 名	298 名	

- ・のみ社会福祉法人連絡会の支援（事務局担当）

7月9日(木)「のみ社会福祉法人連絡会」設立総会

市内の8法人が地域課題の改善・解決をめざす地域福祉の担い手として連携・協働していく仕組みとして設立された。

- ・隔月 幹事会実施 福祉教育の協力、福祉の魅力発信、職員研修を検討



○設立趣意書の署名調印式終了後の記念撮影（写真右より）(敬称略)

社会福祉法人佛子園	理事長	雄谷良成
社会福祉法人陽翠水	理事長	仲井培雄（連絡会副会長）
社会福祉法人喜峰会	理事長	森 紀喜
社会福祉法人湯寿会	理事長	前田英夫（連絡会会長）
社会福祉法人なごみの郷	理事長	荒田 稔（連絡会副会長）
社会福祉法人泰耀	理事長	木田泰弘（連絡会監事）
社会福祉法人南陽園	理事長	表 修司（代理 専務 表 是男）
社会福祉法人能美市社会福祉協議会会長	伴場博夫（連絡会監事）	

きらり★福祉の魅力フォトコンテストやジュニアボランティアクラブ活動に協力
春まちぽかぽかプロジェクト協賛「パネル展示」に協力し情報発信。
職員研修「視野を広げてつながろう!」を実施し、交流を深めた。

⑧ 愛の福祉基金

市民の善意による寄付を愛の福祉基金として積み立てた。

7件 総額90,259円

Ⅲ 地域の支え合い体制づくりの推進

⑨見守りネットワークの構築

⑨-1 地域福祉委員会の活動支援

市内では各町会・町内会単位で地域・地区福祉委員会が設置され、一人暮らし高齢者や障がいのある人など、支援を必要とする人が安心して暮らせるように、地域住民で見守り、支援する活動を行っています。社会福祉協議会では、地域福祉委員会活動ヒント探し講座を開催し、地域・地区福祉委員会の活動を支援しています。

- ①地域・地区福祉委員会への活動支援 設置数……91ヶ所

根上地区設置数・・・21ヶ所

寺井地区設置数・・・23ヶ所

辰口地区設置数・・・47ヶ所

（平成28年度に市内全町（内）会に設置されました。）

地域・地区福祉委員会開催回数 464回

- ②各町会・町内会にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、連絡・調整等の支援をすすめた。

各地域・地区福祉委員会へ職員が出向いた回数 105回

- ③各町会・町内会との関係性が希薄である市営住宅等については、CSWが「市・見守りあんしんマップ」調査時に民生委員・児童委員と共に同行訪問し、その後の見守りが必要とされた世帯には、継続的に訪問し、連絡をとり合った。また、地域・地区福祉委員会や民生委員・児童委員と連携し、生活困窮など地域住民が気に掛ける世帯に対して、歳末見舞金の手渡しの機会に訪問し、状況を確認した。さらに、今後の連絡相談相手となるべく関係づくりを進めた。

CSWの世帯への訪問、連絡回数 131回

地域福祉委員会活動ヒント探し講座の開催

講座名	受講者実績	実施期日・回数	会 場
入門編	19町(内)会より受講者の推薦があり、28名が受講。修了者を地域福祉委員会活動推進員に登録した。 (登録累計363名)	10月1日～ 11月26日 (全3回)	寺井地区公民館 各町(内)会で実習
	【講座内容】 ①開講式と講義『～ふだんのくらしのしあわせづくり～』 講師 内 慶瑞氏(金城大学社会福祉学部 教授) ②講義『私たちの住んでいる能美市の要援護者の現状について』 【高齢者について】 講師 高橋 理恵氏(市我が事丸ごと推進課) 【障害者について】 講師 中島 陽子氏(市福祉課) 【子育て支援について】 講師 山岡 信夫氏(市子育て支援課) ③実習『我が町で地域福祉委員会を開いて、 町の様子を話し合ってみよう』 ④講義と閉講式 『今だからこそ、想いを行動で』 講師 内 慶瑞氏 (金城大学社会福祉学部 教授)		
実践編	地域福祉委員会活動推進員のいる 4地域・地区福祉委員会が受講・ 参加者は9名 (高座町、緑が丘2、緑が丘4、 緑が丘8)	10月28日～ 12月8日 (全3回)	各町(内)会の公民館
	【講座内容】 ①講義『地域福祉委員会活動における住民流支えあいマップづくりの目的と 手法を学ぶ』 ②実習『わが町で住民流支えあいマップづくりを 実践する!』 ③実習『住民流支えあいマップづくりの講評と課題の 見つけ方、解決策の検討について学ぶ!』		
活動推進 会議 (全2回)	実践編を終了した68地域・地区福祉委員会を指定。 (根上地区) 大成町・西任田町・浜町・山口町・中庄町・西二口町・五間堂町・ 道林町・吉原町・大浜町・中町・赤井町・高坂・根上町・福島町・ 福岡町・下ノ江町・中ノ江町・浜開発町 (寺井地区) 九谷町・泉台町・寺井町横町・新保町・東任田町・粟生町・ 牛島町・吉光町・末信町・大長野町・佐野町・寺井中町・緑町・ 小長野町・湯谷町・秋常町・寺井町山道・寺井町北町・小杉町 (辰口地区) 緑が丘・松が岡・宮竹町・和気町・三ツ屋町・鍋谷町・火釜町・ 岩本町・下開発町・来丸町・三ツ口町・倉重町・下徳山町・ 荒屋町・和光台・寺畠町・金剛寺町・仏大寺町・和佐谷町・ 灯台笹町・長滝町・大口町・岩内町・山田町・館・筋生町・ 徳久町・上清水町・北市町・坪野町・緑が丘7		

※10Pへ続く。

活動推進 会議 (全2回)	★活動推進会議指定地域・地区福祉委員会の他、全地域・地区福祉委員会に参加を呼掛けた。 ①地域福祉委員会活動連絡会の開催 町会・町内会長を筆頭に、地域福祉委員会関係者に対し、地域福祉活動についての理解促進を図り、地域での見守り・助け合い活動が充実することを目的として、市・町会連合会と共催し「地域福祉委員会活動連絡会」を開催した。 実施日時：令和2年7月28日(火)～31日(金) 午後7時30分～9時 実施会場：根上総合文化会館・寺井地区公民館・辰口福祉会館 内 容：能美市における地域福祉委員会の取組みについて工夫して活動している事例を紹介し、理解を深める。 ※With コロナの今だから、できることを考えました。 参 加 者：189名
	②地域福祉セミナーの開催 「見守り・助け合い推進委員会」が主催 実施日時：令和2年2月21日(日) 午前10時10分～12時 実施会場：寺井地区公民館 2階 大ホール 内 容：地域共生社会の実現と地域福祉委員会の見守り・助け合い活動についての理解を深める。 参 加 者：60名 ・基調講演：今できる地域の見守り・助け合い『つながるためにできること』 講 師：井岡 仁志 氏（ローカリズム・ラボ代表） ※（5頁掲載）「春 まち ほかほか プロジェクト」において合同開催。



⑨-2 福祉推進員及び福祉推進員連絡会の活動支援

福祉推進員の各地区代表者により設置している、福祉推進員連絡会において研修の機会を企画し、その活動を支援した。

【福祉推進員：根上地区33名 寺井地区44名 辰口地区51名 計128名】

- ・安心の見守りにつなげるスマホ活用講座 LINE アプリ編 全2回 参加者41名
高齢者等の地域の見守りに際して、住民同士がつながり合い、状況確認や安否確認ができるよう、安全面にも配慮するスマートフォンの技能習得のために開催。

日 時： 2月26日(金) 午前の部 10時～11時30分
午後の部 13時30分～15時

会 場： ふれあいプラザ 第1会議室

- ・福祉推進員連絡会 2回（研修企画） ※いきいきサロンボランティア研修会と合同開催。

⑨-3 いきいきサロン等の活動支援

町会・町内会単位で行われている高齢者等の閉じこもり予防や見守りの集い、いきいきサロン等の活動費の助成や研修会の開催、講師を紹介するなど、必要な支援を行った。

根上地区	設置数 20	開催回数 88回
	延べ参加者数	1, 554名
	延べボランティア数	519名
寺井地区	設置数 22	開催回数280回
	延べ参加者数	3, 045名
	延べボランティア数	847名
辰口地区	設置数 37	開催回数141回
	延べ参加者数	1, 804名
	延べボランティア数	136名
いきいきサロン等活動費の助成総額		2, 656, 600円
		(財源は、市社会福祉協議会会員会費)

※いきいきサロンボランティア研修会は、福祉推進員研修会と合同開催。

⑨-4 一人暮らし高齢者昼食会・おでかけサロンの活動支援

一人暮らし高齢者の社会参加の外出の機会として、地域(地区)福祉委員会等が実施する「一人暮らし高齢者昼食会」及び「おでかけサロン」に対し、その費用の一部を助成した。

事業名	助成額	実施町会・町内会 (開催回数)	参加者数
一人暮らし高齢者昼食会	対象者1名あたり 700円を助成	30町会・町内会	300名
おでかけサロン	1町会・町内会 6,500円を助成	7町会・町内会 (8回)	延べ140名

⑨-5 ふれあい弁当の実施

ボランティアが調理した手づくり弁当を一人暮らし高齢者等に届け、ふれあいながら安否確認の声かけなどを行った。

【対象者】満65歳以上一人暮らし高齢者等

【利用料】1食200円

【利用回数】1名につき、月2回まで利用可

根上地区	月2回（第2・4金曜日）	18回	延べ提供食数 194食
	利用実人数	14名	
	延べ協力ボランティア数	162名	
寺井地区	月2回（第1・3水曜日）	21回	延べ提供食数 411食
	利用実人数	22名	
	延べ協力ボランティア数	185名	
辰口地区	月2回（第2・4火曜日）	18回	延べ提供食数 308食
	利用実人数	22名	
	延べ協力ボランティア数	249名	
・中学生のボランティア活動として弁当配達によるふれあい訪問は、コロナウイルス感染拡大防止のために中止。			

※新型コロナウイルス感染拡大防止のために、全67回のうち10回中止。

・調理ボランティアの感謝のつどいの開催

コロナ禍の影響により、長年続けてきましたボランティアによる、ふれあい弁当の調理を令和2年9月で終了したことをうけ、これまで調理に携わられた調理ボランティアグループの方々を対象に、皆で活動を振り返る『感謝のつどい』を開催した。

また、令和3年度から、市内の社会福祉法人との連携で弁当調理をすすめるにあたり、その引継ぎの機会として、5社会福祉法人にも参加していただきました。各法人からは、「ボランティアの皆さんの思いを大切に継承していく」と力強く言われました。

実施日時：令和3年3月17日(水) 10時から11時

実施会場：寺井地区公民館 大ホール

参加者：39名



活動を振り返り、涙される方もいて、これまでの思い出を語り合いました。

⑨-6 子育て応援弁当の実施

産前・産後2ヶ月までの方がいる核家族世帯に対し、主任児童委員が「子育て応援弁当」を配達し、子育てを地域で応援した。

【対象者】産前と産後2ヶ月までのママとその家族（原則 核家族で祖父母等の支援を受けられない方）

【利用回数】第1・3水曜日、第2・4火曜日、第2・4金曜日 毎月6回（年間34回）
原則1世帯3食まで

【利用料】1食250円 3食目350円

・利用実績 延べ提供食数 450食
利用実人数 29名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のために、全67回のうち10回中止。

⑨-7 学習応援弁当の実施

小学4・5・6年生、中学3年生の夏休みの機会にあわせて、学習支援のために手作り弁当を渡し応援した。

【利用回数】8月12日（水）、19日（水）

・利用実績 延べ提供食数 12食
利用実人数 12名

⑨-8 産前・産後子育て応援ヘルパーの派遣

産前の体調不良等または産後間もない時期、家族から援助を受けられない方などに、家事または育児の手伝いを行う子育て応援ヘルパーを派遣した。

【対象者】・産前は、強いつわり、切迫流産、多胎等で安静が必要な方
・産後2ヶ月までは、希望する方
・産後2ヶ月以降は、育児に不安がある方など

【内容】依頼者の自宅にて、日常生活に必要な簡単な家事・育児についての手伝い

【利用時間】8:30～17:00（土日祝日含む）

利用料	課税世帯	非課税世帯	※1 1日の利用は最大4時間。 ※2 年末年始12/29～1/3を除く。
最初の1時間	600円	300円	
30分毎追加	300円	150円	

・利用実人数 4名（延べ利用日数 70日間）
・子育て応援ヘルパー登録者数 33名

⑨-9 音訳テープの提供

音訳ボランティア（音訳ボランティアたんぽぽ）が作成した、広報誌等の音訳テープを、視覚に障がいのある人に届け、正確な情報の提供に取り組んだ。

利用者 4名 各図書館に音訳テープを設置

・市広報誌「広報のみ」 ・市議会だより「のみだより」 ・社協広報誌「ほほえみ」

⑨-10 傾聴ボランティアの派遣と活動支援

一人暮らし等の高齢者の地域での孤立を防ぐため、傾聴ボランティアが高齢者の自宅へ訪問し、話を聞くことで安心感を持ってもらう。

・傾聴ボランティアを高齢者宅へ派遣

【対象者】6名（一人暮らし又は日中独居の高齢者）

【訪問回数】年間25回（月1回を基本）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4、5月は訪問を中止した。

【実施場所】対象者の自宅

・傾聴ボランティア連絡会「うなづき」の連絡会と専門研修を支援（事務局担当）

【登録者】傾聴手法を学んでいる32名

【連絡会】年間6回（2ヶ月に一回）内2回は専門研修

【開催場所】ふれあいプラザ

※連絡会6回の内、第1回（5月）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。



“傾聴”に役立つ専門研修をしました。

⑨-11 能美市民防災ネットワークの活動支援

町会・町内会や壮年団、婦人会、民生委員・児童委員、ボランティア、郵便局、防災士などが集まり、災害時において各団体が地域の課題や被災状況等の情報共有を図り、被災者への支援活動を円滑にすすめる為に、平常時から情報交換や、連携を深めることを目的とする「能美市民防災ネットワーク」の活動を支援した。

【委員会】6回

- ・委員のスキルアップ研修会を実施



※市民向け研修会を企画し開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

⑨-12 歳末時のお見舞金の贈呈

歳末時に、あたたかい正月を迎えてもらうために、民生委員・児童委員の協力を得てお見舞金を贈呈した。また、毎月実施している「ふれあい弁当」の1月分のお弁当に福梅も添え、利用者にお正月の雰囲気味わっていただいた。

【対象者】市内在住の生活困窮者や施設入所者等（生保受給者は除く）

【実施期日】12月11日～12月31日

【贈呈実績と総額】311件 1,555,000円（一律5,000円）

【財源】共同募金

⑩ 生活支援体制の基盤整備と生活支援の取り組み

⑩-1 生活支援コーディネーターの配置

地域における生活課題の把握を行ない、課題解決に向けたネットワークや社会資源の構築を目的に、生活支援コーディネーターを7名配置。

- ・第1層生活支援コーディネーター（市全域） 1名
- ・第2層生活支援コーディネーター（中学校区） 各2名

【第1・2層生活支援コーディネーター会議】 3回

【地区別2層生活支援コーディネーター会議】 全24回

⑩-2 つなぐ号貸出事業の実施（買い物・外出支援活動の支援）

町会（地域福祉委員会）の買い物・外出支援の活動を対象に、能美市商工女性まちづくり研究会所有の8人乗り乗用車を本会が借受け、貸出事業を開始した。（令和元年度より実施）

【貸出先】栗生町、緑が丘、下開発町

【貸出実績】 59回

【延べ利用者】 125名

⑩-3 フードドライブの実施とフードドライブ連絡会の設立・活動支援

生活困窮や支援を必要な子育て世帯等への支援としてフードドライブを実施した。ご寄付いただいた食品は、支援を必要としている方や子ども食堂へお渡しした。

【実施回数】 4回

【実績】



回数	実施日	個数(個)	重さ(kg)
1	6/6(土)、6/7(日)	2,686	581
2	9/26(土)、9/27(日)	937	417
3	12/12(土)、12/13(日)	606	435
4	R3、2/28(日)	896	385

※（5頁掲載）2/28(日)は、「春まちほかほかプロジェクト」において開催。

＊フードドライブの実施により、食品を集める側と受け取る側（市ボランティア連絡協議会や関係機関、福祉団体、子ども食堂、相談支援事業所等）がつながり、生活支援を必要とする方々に適切に食品が届くように、7月に「のみフードドライブ連絡会」を設立した。

【のみフードドライブ連絡会】 4回 7月27日(月)、9月7日(月)、11月5日(木)、1月28日(木)

【取り組みの報告会】

- ・実施日時：2月22日(月)
- ・実施会場：ふれあいプラザ 第1会議室
- ・内 容：①「のみフードドライブ連絡会」のしくみと所属団体が生活支援を考える
取り組みの事例報告。
②講義：「フードドライブのつながりから生活支援
そして、共生社会を考えよう！」
講師：同志社大学 社会学部 教授 永田 祐氏（オンライン）
- ・参 加 者：28名



⑩-4 たすけあい・ライフサポーター活動支援講座の開催

住民の力を地域での活動に活かし、高齢者の日常生活の困りごとを助け合うことを進めるために、地域の担い手を養成した。受講後は地域サポーターとして登録し、活動に繋がるようにすることを目的に開催した。

【月 日】 〈第6期〉 講義：令和3年2月18日(木)・22日(月)

【講 義】 総合事業の意義と高齢者の生活支援・介護予防について
高齢者の心身の特性と暮らしについて、認知症の理解と対応について
利用者への接し方について、実際の生活援助について
緊急対応時の心得について、実践に向けての心得について

【受講者】 〈第6期〉4名

⑪ 同じ立場の方々の支え合いや交流活動の支援

	活 動 名	期 日	会 場	参加者等
介護等に関して	ほっとあんしんサロン 心の悩みなど、日頃の思いを 気軽に語り合う場 ※能美市介護を考える会の協力を 得て実施 【財源】共同募金	9回開催 毎月第2水曜日	ふれあいプラザ	83名
	親子サロンとママ友相談 就学前の子どもや、その親・ 祖父母が気楽につどい、ふれあい や交流を深め、気軽に子育ての相 談などができるサロン ◎地域の公民館等で開催し、地域 のだれもが参加出来る共生型の サロンを目指す。 【実施回数】週1回 ※スタッフとして有償ボランティ アで実施	根上地区 水曜日 40回 寺井地区 木曜日 36回 辰口地区 火曜日 37回	西二口町 公民館 (コミュニティセンター) 粟生 コミュニティセンター 岩内 コミュニティセンター	246名 (122組) 310名 (145組) 376名 (183組)

⑫ ボランティア・コミュニティ活動支援センターの運営

ボランティア・コミュニティ活動支援センター事業を市民参画で進めるために、運営委員10名による運営委員会を開催した。

【実施回数】 3回 6月22日(月)、8月3日(月)、2月15日(月)

【内 容】 第1回 委嘱状交付式及びボランティア講座・役割の確認
第2回 ボランティアグループ及びコミュニティ活動団体活動助成の検討
第3回 ボラセンの活動報告及び情報発信の検討

※『喫茶“あい・テラス”』～みんなのボラセンに気軽に集おう！』を企画し開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

⑫-1 登録・ニーズ受付・相談・斡旋・保険加入

ボランティアの登録及び相談斡旋をすると共にボランティア活動保険の保険料を助成し、その加入を推進した。

【登録実績】 97グループ 3,576名 (全てボランティア活動保険に加入)

【相談斡旋実績】

	依 頼 先 ボランティア相談内容	町(内)会 いきいき サロン	福祉 施設	保育 学校 関係	企業 団体	その他	件数
1	イベントに関して	3			1	1	5件
2	高齢者・障害者への支援に関する活動						0件
3	子育て支援に関する活動						0件
4	福祉教育(地域や学校に出前)に関する活動			9			9件
5	文化・伝承活動に関する活動						0件
6	環境保全活動に関する活動						0件
7	国際交流活動に関する活動						0件
8	防災活動に関する活動						0件
9	健康促進に関する活動				1		1件
10	その他の相談					10	10件
合 計		3	0	9	2	11	25件

【登録一覧】 (活動分野別)

高齢・障がいの ある人の支援	芸能生 涯学習	文化	環境	子育て 支援	国際 交流	更生 保護	シニア 世代	健康	防犯 防災	その他	合計
27	21	8	10	8	2	3	4	5	1	8	97

【能美市ボランティア・コミュニティ活動支援センター登録グループ一覧】

令和3年3月31日現在

No	分野	グループ名	活動の内容
1	介助	ヘルスケアJA根上女性部	福祉施設でのシーツ交換のほか、傾聴ボランティア、各種イベントのお手伝いをしています。
2	介護・防災	ボランティアほおずき	福祉施設での話し相手、給茶サービス、ビューティケア、救急法、健康生活支援講習、災害ボランティアの研修などを行っています。
3	介助	J A能美 ボランティアグループ	福祉施設でシーツ交換などの協力をしています。
4	介助	げんきかい	福祉施設でのサポートやアロマハンドマッサージによるふれあい交流をしています。また、老人クラブの運動会の支援もしています。
5	介助	しらゆり会	福祉施設利用者の理髪やティータイムの手伝いと話し相手等を行っています。
6	相談	能美市介護を考える会	会員同士の思いを話し合い、お互いの心の支えとなることや、介護についての学習の場として学びあうことなどをすすめています。
7	介助	能美市笑いヨガ倶楽部	福祉施設やいきいきサロンで笑いヨガによるふれあい交流をしています。
8	介護・防災	能美市赤十字奉仕団 チーム20	地域での認知症についての理解講座や高齢者向けレクリエーション指導をしています。また、小・中学校での福祉体験学習に協力しています。
9	介護・介助	NPO法人 「たすけ愛」ほっと	地域福祉活動や地域のイベントでの参加者の介助の手伝いをしています。
10	介助・環境	ちぐさグループ	福祉施設や地域のいきいきサロンでのふれあい活動や、環境保護活動として「ほかし」の製造販売をしています。
11	介助	寺井民児フレンドサークル	古切手、古木綿布、タオル、石鹸等を収集し施設へ届けています。イベント応援もしています。
12	介助	まだまだ元気な高齢者 サポートグループ 「ほがらか会」	市民提案型協働事業「ほがらか会」(閉じこもりを防ぐミニデイサービス)を行っています。
13	配食	ふれあい型配食サービス ボランティア	一人暮らし高齢者等への夕食弁当の調理・配達をしてふれあい交流をすすめています。
14	配食	ちどり会	ふれあい弁当事業の調理配達をしています。
15	配食・食	ささゆり会	地域の伝承料理を学び、その活動を広めながら、ふれあい交流を行っています。随時勉強会を行い、地域のいきいきサロンへも出かけています。
16	配食・食	なごみの会	ふれあい弁当の調理を年4回担当しています。また、ヘルシーなアイデア料理を調理実習し、福祉イベントにも協力しています。
17	点訳	点訳グループ 双六	点訳友の会に所属して図書の点訳をしています。小・中学校の福祉体験にも協力しています。
18	音訳	能美市音訳ボランティア たんぼぼ	3地区の音訳グループが協力して、広報誌を音訳し、テープに録音しています。
19	手話	手話サークル 虹	聴覚に障がいのある方々と交流しながら手話の学習をしています。
20	手話	手話サークル めだか	聴覚に障がいのある方々と交流しながら手話の学習をしています。
21	手話	手話サークル ゆず	聴覚に障がいのある方々と交流しながら手話の学習をしています。
22	要約筆記	能美要約筆記サークル みみずく	聴覚に障がいのある方のコミュニケーション支援と社会参加を支援しています。研修会や講演会、イベントなどで活動しています。

高齢者・障害者支援等

23	高齢者・障害者支援等	傾聴	能美市傾聴ボランティア 連絡会 うなづき	傾聴技術を学び、心に寄り添った会話をすることで、高齢者に安心感を与えることを目的に訪問活動をしています。
24		作業所支援	ラゼールクラブ ボランティア	能美市手をつなぐ育成会会員の余暇活動を応援する活動をしています。
25		農耕体験 共生支援	NPO法人 心田開発	ストレスなどによる「心のかぜ」に悩む方に農耕や園芸作業で実感できる“緑の時間と空間の中”で元気回復を応援しています。
26		高齢・ 障害者支援	辰口民生児童委員ＯＢ会	地区内施設の支援活動などを行っています。
27		高齢者支援	Lumina	福祉施設やいきいきサロンでハンドトリートメント、メイクサービスを行っています。
28	芸能・生涯学習関連等	芸能	能美市郷土芸能保存会	郷土の文化芸能を、子ども達へ引き継ぐ為に、伝承活動を行っています。
29		芸能	響の会	歌や踊りでの交流を目的に、福祉施設や地域のいきいきサロンに訪問しています。
30		芸能	加賀佐野小町	よさこい踊りを通して、地域の方々に元気を差し上げたい、と活動しています。
31		芸能	能美マジック教室	マジックや、歌、踊りなどを通じたふれあい交流を目的に、地域のいきいきサロン等に訪問しています。
32		芸能	てらい愛唱会	歌で交流することを目的に、福祉施設に訪問しています。
33		芸能	愛凜倶楽部	歌謡と楽器演奏を通じたふれあい交流を目的に、福祉施設に訪問しています。
34		芸能	KONOHAWINDS	吹奏楽ＯＢが集まり、演奏活動を行っています。
35		芸能	根上歌謡会	懐かしい歌を楽しみながらふれあい交流を行います。福祉施設や地域のいきいきサロンに訪問しています。
36		芸能	辰口民謡会	全国各地の民謡と踊りによるふれあい交流を目的に、福祉施設や地域のいきいきサロンに訪問しています。
37		芸能	長野民舞会	日々、民舞の練習に取り組み、地域のいきいきサロンでの披露を通して、ふれあい交流を行っています。
38		芸能	歌とマジックの会	歌とマジックを披露するを通して、ふれあい交流を目的に福祉施設や地域のいきいきサロンに訪問しています。
39		芸能	お笑い演芸会	交流することを目的に、福祉施設などに訪問しています。
40		芸能	ウクレレサークルnomilele	ウクレレ演奏を通し、地域の福祉施設やイベントでの活動を行っている。
41		芸能	オカリナ倶楽部九谷の風	オカリナ演奏を通して、仲間づくりと人とのつながりを積極的に行い、地域のいきいきサロンやイベント等での活動を行っています。
42		芸能	オカリナ倶楽部 九谷まほろば	オカリナ演奏を通して、仲間づくりと人とのつながりを積極的に行い、地域のいきいきサロンやイベント等での活動を行っています。
43		芸能	ＪＡ根上女性部「雅会」	大正琴の演奏を通して、ふれあい交流を目的に福祉施設や地域のいきいきサロン、イベントなどに訪問しています。
44		芸能	福祉ボランティア かがやき姉妹	唄や寸劇を披露しふれあい交流することを目的に、福祉施設や地域のいきいきサロンを訪問しています。
45		芸能	野花菖蒲たつのくち	民謡、歌謡曲、よさこいソーラン踊りなど、多種ジャンルから選曲し、イベントでの活動や福祉施設への訪問をしています。
46		芸能	amitie'（アミティエ）	ギター演奏と歌を通してイベントでの活動を行っています。
47		芸能	アル・ソーレ	童謡や唱歌を通して、ふれあい交流を目的にイベント会場や福祉施設を訪問しています。

48		芸能	舞踊集団菊の会	踊りでのふれあい交流を目的に、福祉施設や地域のいきいきサロンに訪問しています。
49	文化	絵手紙	苺の会	老人クラブの有志で絵手紙を作成しています。また、1ヶ月に2回ふれあい弁当事業の上掛けの絵作りに協力しています。
50		絵手紙	葉月会	季節を愛でた絵手紙を作成し、高齢者に送っています。また、ふれあい弁当事業の上掛けの絵作りに協力しています。
51		読み聞かせ	えほんファミリー	赤ちゃんから高齢者まで幅広く楽しんでもらえるパネルシアターやペープサート等で活動しています。
52		読み聞かせ	家庭文庫おはなしのいえ	「家庭文庫」として自宅を週2回火曜日に開放しています。また、幼児・学童に児童文学の読み聞かせや人形劇の公演をしています。
53		読み聞かせ	さゆりの会	童話や昔話の読み聞かせ活動をしています。
54		読み聞かせ	おはなしの会 トゥインクル	活動地域の主婦が集まりお話の読み聞かせ活動をしています。また、辰口図書館の活動にも参加しています。
55		読み聞かせ	和気小図書ボランティア	和気小学校図書館での本の読み聞かせ活動をしています。
56		読み聞かせ	絵本の時間 ミッフィー倶楽部	市内保育所や宮竹小学校を中心に、絵本の読み聞かせや手遊び、紙芝居のふれあい活動をしています。
57	環境		さいさい倶楽部	生ゴミのリサイクルに必要な情報の提供と、ライフスタイルにあったコツや裏技の工夫を楽しんでいます。
58			高坂・根上町緑を守る会	身近にある山林を守る保全活動を通じて、緑に対する関心を高めることをすすめています。
59			能美花の会	草花への理解を深めるために、公共花壇の定植、講習会、研修展示会をしています。
60			いけ花あじさいクラブ	能美根上駅窓口コーナーなどへ、四季折々のいけ花を提供しています。また、福祉施設に訪問し、フラワーアレンジメントを教えています。
61			むつみ学級	根上地区の公共施設周辺の花壇の整備や清掃美化活動を行っています。
62			エコトライ寺井	環境ボランティア活動として、身近な環境問題の学習と実践活動をしています。
63			ハリンコ保存会	絶滅危惧種「ハリンコ」の保護活動として、生息地や水路の清掃を行い、環境保護啓発の活動を展開しています。
64			フレンズ	史跡や公共施設周辺の草刈りや樹木整備をしています。また、男性同士のふれあい仲間づくりをしています。
65			能美の里山ファン倶楽部	貴重な役割を担う里山の活性化のために、里山地域の住民が考え、広く市民に里山の魅力をアピールする活動をしています。
66			護美ワーキンググループ	生ゴミを肥料に使う野菜作りの普及や環境問題を中心にした活動をしています。
67	子育て支援		託児グループ リバティfam	イベント時の託児や、能美市ファミリー・サポート・センター、親子サロンなどの見守り活動に協力しています。
68			能美美育ネットワーク	公共施設への花の生け込み活動や、児童作品展の開催、保育園・福祉施設での美育セミナー（お茶、お花）をしています。
69			能美子ども食堂ネットワーク	食を通して、誰でもが集える場を開催しています。
70			のみ♥子育てネットワーク	地域の子育てを応援する為に、人と人がつながるきっかけ作りとして年に数回イベントを開催しています。定例会では、自身の子育てを本音で語り合いながらイベントの企画を話し合っています。
71			市民活動団体 みんな食堂	地域交流、世代交流を目的に、手づくり食事会、抹茶教室、学習会（認知症予防、健康づくり）を行っている。
72			小松おやこ劇場	親子で心豊かに育ちあうことを目指し、舞台鑑賞、研修会、講師を迎えておはなし会を行っています。

73	子育て支援		三道山子ども食堂	食を通して、誰でもが集える場を目指して活動しています。
74			青空自主保育 おひさまぼっこ	親子で自然とふれあい、親子同士の交流を図り集える場を開催しています。
75	国際交流		山ぼうしの会	使用済切手や書損じ葉書・ベルマーク等の収集整理活動をし、小中学校の教育支援や開発途上国の支援につなげています。
76			能美市国際交流協会	外国の方々との交流サロンや、日本語教室、ふれあいイベントを開催し、国際感覚を育み、共に暮らす地域づくりの活動をしています。
77	更生保護		根上地域更生保護女性会	地域の犯罪予防、非行防止、更生保護活動への協力、青少年の健全育成支援活動をしています。
78			寺井地域更生保護女性会	地域の犯罪予防、非行防止、更生保護活動への協力、青少年の健全育成支援活動をしています。
79			辰口地域更生保護女性会	地域の犯罪予防、非行防止、更生保護活動への協力、青少年の健全育成支援活動をしています。
80	シニア世代	団塊世代 仲間	シニア大楽	シニアからのセカンドライフを心豊かに過ごす趣味や生きがいづくりを通じた仲間づくりの活動をしています。
81		団塊世代 仲間	元気でやろう会	シニア世代として、荷物の運搬や簡単な草木の手入れなど、自分たちができることを、支援を必要としている方の要請に応じて手伝っています。
82		団塊世代 仲間	明日に向かって やってみよう会	シニア世代講座の修了生によるグループで、家庭や地域で役立つ介助の知識を持ち、できることを検討しています。
83		生活支援	東レOB支援隊	東レのOBが集まり、高齢者の生活の支援サポートを行っている。
84	健康	AED普及	Heart aid いしかわ ～みんなでのちを想う会～	心肺蘇生法やAEDの普及を呼びかけ、命を大切にできる地域づくりに貢献する活動をしています。
85		食育・配食	能美市食生活改善 推進協議会	市栄養教室修了者で構成。市民の食生活改善及び健康推進の普及、研修会や検診時の試食製作、配食サービス弁当づくりに協力しています。
86		スポーツ	能美市レクスボクラブ	高齢者や障がいのある人の閉じこもり予防や、自立による社会参加の促進、レクスボでの健康増進や心のふれあい交流をしています。
87		健康交流	粟生町歩歩笑美くらぶ	粟生町での多世代型交流として、カローリングや、町カフェを開催し、多くの方とのふれあい活動を行っています。
88		健康啓発	能美・健康ワーキング グループ	市と連携し、健康づくりの活動に協力しています。地域のいきいきサロンにも訪問しています。
89	防犯	防犯	辰口中央小学校見守り隊	辰口中央小学校の児童の登下校の見守りや交通安全指導などの見守り活動をしています。
90	その他	学生 ボランティア	寺井高等学校JRC部	ふれあい弁当事業の配達や、募金活動をしています。
91		買物支援	能美市商工女性 まちづくり研究会	地域貢献と地域振興を目的として、市内山間部の地域を中心に、買い物に困っている方々を支援する「移動販売」を行っています。
92		清掃活動	かが能美掃除に学ぶ会	公共施設（学校含む）のトイレの清掃活動を行っています。
93		買物支援	認定NPO法人えんがわ	毎週、ふれあい市を開店し地元を中心に販売、買い物支援を実施。また冒険の森の伐採、公園清掃などを行っています。
94		まちづくり	ひよっこりサードプレイス	不定期、移動型の「ひよっこりカフェ」を開催し、まちの魅力を楽しみながら、誰もが気軽に集まって交流できる場を創っています。
95		生活支援	たすけあい・ライフ サポーター「えがお会」	たすけあい・ライフサポーター活動支援講座を修了し、支援を必要とする高齢者と温かなコミュニケーションをとりながら、自立に必要な家事支援を行っています。
96		農業体験	中庄町丸いも娯楽会	農業体験を通じての世代間交流、地産地消の大切さを伝えるために、丸いもの普及活動を行っています。
97		民生委員	市民生委員児童委員協議会	地域福祉の推進役、地域における高齢・障害・児童育成の様々な支援活動を行っています。

⑫-2 ボランティア講座の開催

ボランティア活動に関心を持っていただけるように年代層別に、気軽に活動に参加できるような各種講座を開催した。

	事業（講座）名	実施月・回数	参加者数	内 容
①	ジュニアボランティアクラブ 	11～12月 全3回	計17名 延べ47名	※小学生とその保護者を対象として、市内在住の障がいのある方と共に車いす・アイマスク体験等を行った。また、福祉施設職員へコロナに負けるな応援メッセージを作成し贈呈した。  
				車いすの使い方を学んだ後、自走体験を行いました。障がいのある方々からもお話を聞きました。
				心を込めて絵と応援メッセージを書き、「のみ社会福祉法人連絡会」会長へ贈呈しました。
				街頭募金を行い、温かな気持ちをいただきました。
②	中学生ボランティアチャレンジ体験 	10月～3月	延べ182名	※市内中学校生徒会が企画 ・根上中学校企画(10/6) 「We are 松々レンジャーズ！！～大きな松を育てマツ～」 ・寺井中学校企画(3/18) 「アイシティ eco プロジェクト活動と収集物について知ろう！！」 ・辰口中学校企画(12/10) 「エコキャップ週間」  
				大浜学校林で松葉かきを行い、環境保護の意識を高めました。
				コンタクトの空ケースリサイクルを全校生徒に呼びかけました。
				日本海開発でエコキャップがリサイクルされました。
③	高校生ボランティアチャレンジ体験 	11～12月	延26名	・「フードドライブ学習会」(11/26) ～フードドライブの意義を学ぶ～ ・「フードドライブ体験」(12/12、12/13) ～フードドライブの受付と仕分けの体験～ 
				フードドライブの意味や助け合いの重要性を知りました。
				たくさんの方から寄付を頂き、地域の温かさを感じました。

	事業（講座）名	実施月・回数	参加者数	内 容
⑤	企業ボランティア セミナー はくさん信用金庫	2 月 1 回	30 名	「誰もが安心して暮らせる共生の地域を 目指して～聴覚障がいの理解を深める～」 講師：新田 照予 氏 （2/24）  言語である手話やコミュニケーションを深める方法を学び ました。

⑫-3 災害ボランティアセンターの運営研修会の開催

災害ボランティアセンターの運営を円滑に進めるためや、社会福祉協議会の通常業務が行えるよう BCP（事業継続計画）について、また、コロナ禍による感染予防対策等、社協職員間での共通認識や体制整備を整えるために研修会を開催した。

実施日時：令和 2 年 11 月 17 日（火）17 時 30 分～19 時
 実施会場：ふれあいプラザ 2 階 第 1 会議室
 内 容：「災害 VC の運営と社協の BCP について考える」
 参 加 者：27 名
 講 師：江田島市社会福祉協議会（広島県）
 総務課長 河内 邦大 氏



講師の河内氏から、災害ボランティアセンターの運営で苦労されたことや、江田島市社協の BCP について学びました。

⑫-4 ありがとう！笑顔と元気のメッセージパネル展示の開催

能美市内ボランティアグループの活動紹介、のみ社会福祉法人連絡会 及び会員法人の紹介、福祉・介護の現場で働く方々の“きらり★福祉の魅力”フォトコンテスト応募作品、能美たすかったわ～大賞 受賞作文、能美市ジュニアボランティアクラブの「with コロナ応援メッセージの絵手紙」の展示を開催した。

【前期】実施日時：2月21日(日)～26日(金) 10 時～16 時
 実施会場：能美ふるさとミュージアム

【後期】実施日時：2月27日(土)～28日(日) 10 時～15 時 30 分

実施会場：寺井地区公民館 2 階

参 加 者：466 名

※（5 頁掲載）「春 まち ほかほか プロジェクト」
 において開催。



※市内の福祉・環境・健康・生活と多岐にわたるボランティア活動に取り組んでいるグループや個人が一堂に会し、その活動を広く市民に情報発信する、第 13 回能美市民ボランティアフェスティバルは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

⑫-5 ボランティアグループ及びコミュニティ活動団体活動支援(助成金)

ボランティアグループ及びコミュニティ活動団体の活動を推進するために助成した。

【対 象】市ボランティア・コミュニティ活動支援センターに登録し、市ボランティア連絡協議会に加入した、次に該当するグループ

●活動実績が1年以上 ●会員数が5名以上 ●月1回以上の継続活動

No	申請グループ名	助成額 (円)	活動における助成内容
①	手話サークルゆず 代表 坂下 淳子 平成30年設立(3年目) 会員数 20名	32,000	聴覚に障がいのある方々と交流しながら手話の学習を行っている。安全に活動を行うためにフェイスシールドと消毒液を消耗品費として助成した。
②	オカリナ倶楽部九谷まほろば 代表 本佐 盛明 平成27年設立(6年目) 会員数 13名	50,000	月2回の練習、いきいきサロン、コンサート等で演奏を行っている。活動に使用するTシャツ、楽譜立て、事務用品などの消耗品費や技術向上のための講師謝礼金として助成した。
③	舞踊集団菊の会 代表 徳田 重子 平成21年設立(12年目) 会員数 8名	33,000	いきいきサロン、老人会イベントに協力しており、毎月第4水曜日に、はまなすの丘へ訪問している。活動に使用する帯とマスクを消耗品費として助成した。
④	能美市介護を考える会 代表 河村 恵美子 平成4年設立(29年目) 会員数 52名	50,000	隔月役員会、毎月ピア学習会、ほっとあんしんサロンを開催している。会員の学習会に使用するDVDと事務用品を消耗品費として助成した。
⑤	てらい愛唱会 代表 河村 良平 昭和54年設立(42年目) 会員数 12名	50,000	高齢者福祉施設への訪問活動、老人会アトラクションを行っている。活動の際に使用するカラオケDVDプレイヤーを器材購入費、技術向上のための講師謝礼金、練習カセットテープを消耗品費として助成した。
⑥	辰口地域更生保護女性会 代表 南 一美 昭和35年設立(61年目) 会員数 86名	27,000	更生保護施設での奉仕作業や介護施設訪問、小学校防犯パトロールを行っている。小学校防犯パトロールなど使用する軍手やカイロ、事務用品を消耗品費として助成した。
⑦	能美市音訳ボランティア たんぽぽ 代表 能登 妙子 平成17年設立(16年目) 会員数 27名	16,000	年間を通じて、市広報のみ、議会だより、社協ほほえみの音訳録音を行っている。音訳活動に使用するCD ラジオカセットレコーダーを器材購入費として助成した。
⑧	のみ♡子育てネットワーク 代表 清水 奈津美 平成13年設立(20年目) 会員数 41名	50,000	子育て支援に関する勉強会や、各種イベントを企画・実施し、子育て中の母親の支援を行っている。活動に使用する消耗品費や収納ボックスを備品費として助成した。
合 計		308,000	

12-6 福祉協力校の活動支援

市内全小・中・高等学校を福祉協力校に指定し、児童・生徒の福祉意欲の啓発やボランティア活動への理解を深める取り組みに対して助成し、活動を支援した。

- ・活動助成金交付 7小学校（1校は県社協指定校）、3中学校、1高等学校
- ・福祉協力校の福祉体験活動支援

福祉体験についての相談を受け、指導者や協力者を派遣したり、訪問先の施設との連絡調整を行うなど、福祉協力校が行う福祉体験を支援した。

【社会福祉協議会が把握した活動回数】 100回(学年はクラス単位)

【社会福祉協議会が把握した体験者数】 延べ2,381名

- ・福祉協力校活動連絡会

学校と地域のボランティア活動者が顔を合わせ、情報を交換し連携を深めることで、福祉教育の推進を図ることをめざし、連絡会を開催した。

【参加者】福祉協力校担当教諭12名、ボランティア活動者15名 計27名

【実施日時】8月18日(火) 10:00~11:30

【実施場所】寺井地区公民館 大ホール

【内容】講演：地域環境を活かした人づくり

講師：金沢星稜大学 人間科学部

教授 池田 幸慶 氏

12-7 能美市ボランティア連絡協議会の活動支援

市内で活動しているボランティアの相互の情報交換、交流などを図る市ボランティア連絡協議会の活動費を助成し、役員会や研修会を支援した。

- ・能美市ボランティア連絡協議会の活動の事務局を担当し支援した。
分野別研修会 91名参加、会員研修会 38名参加、他に総会、役員会(毎月1回開催)などを開催

12-8 ボランティア情報発信

- ・ボランティア情報誌「ボラ♥はあと」を年2回(35号、36号)発行した。
- ・「ボランティアだより」を毎月、情報発信した。
- ・ボランティア・コミュニティ活動支援センターのホームページを随時、更新した。
HPアドレス <[http:// www. nomi-shakyo.jp/vc](http://www.nomi-shakyo.jp/vc)>



⑫-9 ボランティア器材の貸出し <用品一覧>

【貸出実績】 37件（目的は、次のとおり）

- ・ 町会行事のふれあい行事（いきいきサロンを含む） 17件
- ・ 要介護者の移動等 0件
- ・ 学校等での福祉体験 8件
- ・ ボランティアグループのふれあい活動 9件
- ・ その他、個人への貸出し 3件

【貸出用品一覧】

番号	貸出用品	貸出数量
①	車いす	12
②	点字器(携帯型)	81
③	アイマスク	19
④	高齢者擬似体験セット (ジュニア用)	2
⑤	プロジェクター	1
⑥	CDラジカセ	2
⑦	スクリーン	2
⑧	マイクアンプセット	3
⑨	ビデオ・DVDデッキ	2
⑩	視聴用ビデオテープ・DVD	多数

番号	貸出用品	貸出数量
⑪	ポップコーン機器	4
⑫	かき氷機	4
⑬	綿菓子機	4
⑭	レクリエーション器材 (屋内用) ジェンガ、ボーリング、 デジタルビンゴ、玉入れ、 輪投げ、ストライクアウト等	多数
⑮	カラオケー式	1
⑯	図書(福祉教材)	多数
⑰	サンタ衣装	3
⑱	非接触型電子体温計	2

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬



⑭



⑮



⑯



⑰

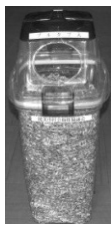


⑱



⑫-10 ボランティア・コミュニティ活動支援センターが窓口となっている 収集物について

【収集物の使途及び実績一覧】

収 集 物	収集取り扱い団体	使 途
プルタブ  湯野小学校のみなさんからご寄付を頂きました。	能美市社会福祉協議会	令和2年度 集めたプルタブは、 合計約165kg 市内の保育園、小・中学校、市民の皆様からたくさんのご寄付を頂いております。 金属廃品回収業者に買いとってもらい、換金、積立てしている。 (★約650kgで車椅子1台が購入できる。)   

【収集物の使途及び実績一覧】

集めているもの	収集整理している団体	送付	どんなことに役立つの？
ベルマーク 	ボランティアグループ 山ぼうしの会 使用済み切手は、 消印が残るように 切り取ってね！ 	ベルマーク財団 	ベルマークは、整理、計算して財団に送ると1点が1円に換算。学校の教材備品を購入。また、教育援助活動に使われます。
使用済インクカートリッジ (キャノン・エプソンのみ)		キヤノン・エプソン	使用済インクカートリッジの回収を通じて、ベルマーク運動に参加。用途は、上記の通りに使われます。
使用済み切手 書き損じハガキ 使用済テレフォンカード プリペイドカード		・公益財団法人 ジョイセフ(東京都) ・特定非営利活動法人 「誕生日ありがとう 運動本部」(神戸市)	・アジア・アフリカ中南米の発展途上国の保健活動(予防接種や保健師の活動)の助成に使われます。 ・障がい者問題に取り組む福祉活動に使われます。
エコキャップ	株式会社日本海開発 ※エコキャップは直接、「株式会社日本海開発」へ、お持込みください。	世界の子どもに ワクチンを 日本委員会	エコキャップをリサイクルし、世界の子どもたちのワクチン購入費に使われます。(キャップ860個で1人分が購入できます)
プルタブ	能美市社会福祉協議会	金属廃品回収業者に換金し車椅子を購入。市内福祉施設等へ寄付します。車いす1台購入するのに約650kg 必要です！(時価で変動あり)	

収集ボックスを下記の場所に設置。

老人福祉センター「白寿会館」、寺井老人福祉センター「亀齢荘」、G-Hills、ふれあいプラザ

⑬ ファミリー・サポート・センターの運営

地域において、育児の援助を行いたい協力会員と援助を受けたい依頼会員とで、育児に関する相互援助活動を調整、実施するファミリー・サポート・センターを市から受託し、子育てに関する支援及び、子育てに関する市民相互の支えあい活動を進めた。

- ・ファミリー・サポート・センター運営委員会を3回開催した。
- ・会員講習会7回、研修会及び交流会を4回開催した。
- ・アドバイザーによるセンター利用者の子育て悩み相談を受けた。

・ファミリー・サポート・センター事業

【会員登録】協力会員…市内に在住している20歳以上の方

依頼会員…市内に在住し、生後2ヵ月から小学6年生までの子どもの保護者

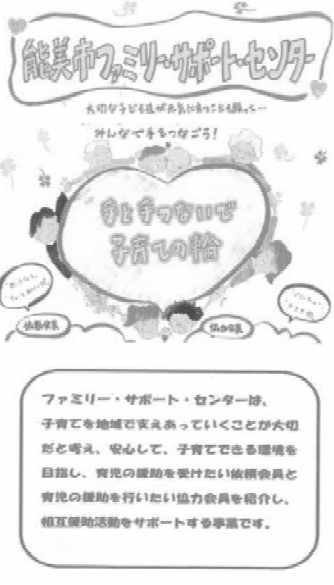
【利用料】利用の場合は原則として、3日前までの申し込み（緊急の場合は相談）

利用料金	月曜日～金曜日	7:00～19:00	300円
		19:30まで	350円
	土・日・祝日	7:00～19:00	350円
		19:30まで	400円

※年末年始12月29日～1月3日は休日となります。

※子ども1人の30分あたりの料金。※依頼のキャンセルにはキャンセル料がかかる場合があります。

- 【内 容】
- ① 保育施設等の開始前又は保育終了後の預かり若しくは送迎
 - ② 子どもの習い事の送迎
 - ③ 学校の放課後又は放課後児童クラブ終了後の預かり若しくは送迎
 - ④ 冠婚葬祭又は学校行事の際の預かり
 - ⑤ 通院、買い物等の外出又はリフレッシュの際の預かり
 - ⑥ 病後児で、保育施設等への通所が困難な子どもの預かり又は病後児保育施設までの送迎
 - ⑦ その他、会員の育児に関しての必要な活動

会員数		支援内容	利用件数
依頼会員	296名	保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り	0件
協力会員	118名	保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	61件
両方会員	53名	保育園・幼稚園の送迎	587件
		学校の送迎	12件
		学校の放課後の預かり	0件
		学童クラブの送迎	42件
		学童クラブの迎え及び帰宅後の預かり	0件
		子どもの病後児の送迎	0件
		子どもの病後児の預かり	0件
		子どもの習い事等の場合の援助	113件
		保育所・学校等休み時の援助	0件
		保護者等の就労の場合の援助	0件
		保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	0件
		保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助	0件
		保護者等の外出の場合の援助	16件
		保護者等の病気、その他急用の場合の援助	0件
		障がいを持つ子どもの送迎	349件
		障がいを持つ子どもの預かり	1件
		その他の送迎	0件
		その他の預かり	0件
計			1,181件

⑭ 老人福祉センター等の指定管理、運営

高齢者の憩いの場である温浴施設（老人福祉センター）を指定管理、運営した。

	施 設 名	延べ開館日数	延べ利用者数
1	老人福祉センター白寿会館	223日	13,405名
2	寺井老人福祉センター亀齢荘	289日	24,931名
計		512日	38,336名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4/8～4/14の期間は入浴のみ。
4/15～5/31の期間は休館。

Ⅳ 寺井あんしん相談センターの運営

⑮ 高齢者や障がい者、生活困窮者等の総合相談窓口

高齢者や障がい者、生活困窮者等の総合相談窓口である寺井あんしん相談センターの運営を能美市より受託し、下記の業務を行った。

- ・ 高齢者福祉制度、サービス及び介護・認知症に関する相談
- ・ 地域とのネットワークづくり、介護予防の普及啓発
- ・ 権利擁護に関する相談

	内 容	件 数
1	実態把握（延）	2,456件
2	地域活動支援（地域福祉委員会の出席等）	45件
3	運営推進会議出務	8件
4	出前講座・認知症サポーター養成講座開催	4件
5	ケアプラン会議開催	134件
6	地域ケア会議開催	73件
7	権利擁護に関する相談・対応	53件
8	連絡調整業務（介護保険の申請手続き等）	383件

- ・介護予防支援、介護予防・日常生活支援総合事業対象者のケアプラン作成

	内 容	件 数
1	介護予防支援（直営）	208件
2	介護予防支援（委託）	525件
3	介護予防・日常生活支援総合事業（直営）	231件
4	介護予防・日常生活支援総合事業（委託）	113件

- ・高齢者や障がいのある方、生活困窮等複合的な課題を抱える世帯に対し、サービス事業所や必要な相談窓口等につなげ、その世帯を包括的に支援する調整を行った。
- ・各相談支援機関と連携を図り、解決に向けて協議するケース会議の開催・参加を行った。

	内 容	件 数
1	障がい者の相談（延） ※64歳以下	127件
2	生活困窮の相談（延）	35件
3	支援チーム会議参加、地域ケア会議開催	4件

※根上地区は「能美市立病院」、辰口地区は「（社福）陽翠水」が、各地区あんしん相談センターを受託しています。

V くらしサポートセンターのみ の運営

⑯ 生活困窮者自立支援事業（食糧支援含む）

- ・社会的孤立や経済的に困窮する恐れのある方が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、個々に応じた包括的かつ経済的な相談支援を実施する。
- ・必要に応じて個別プランを策定し、目標達成に向けて支援を実施する。
- ・地域における自立・就労支援等の体制を構築することにより、生活困窮者の自立を促進することを目的とする。

【相談実件数】 509件
 【相談延べ件数】 1,236件
 【プラン作成件数】 12件

・食糧支援

フードドライブで集められた食品は、くらしサポートセンターのみを通して、生活に困窮している方や各団体に配付した。

【利用回数】 180回

くらしサポートセンターのみ（生活困窮個別支援） 76回

配付先団体

団体名	利用回数
能美子ども食堂ネットワーク	26回
相談支援事業所	13回
能美市母子寡婦福祉連合会	15回
能美市国際交流協会	13回
行政（福祉課、子育て支援課）	37回

⑰ 福祉サービス利用援助事業

判断能力の乏しい高齢者や障がい者等の権利を擁護することを資することを目的として、それらの方が自立した地域生活が送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等を行っている。

【対象者】 利用対象者は判断能力が十分でない方で以下のとおり

- ・もの忘れのある高齢者（認知症高齢者）
- ・知的障がいのある方、精神に障がいのある方等

【サービスの内容】

- ・日常的な金銭管理の援助
 - ＊医療費、電話料、税金などの支払い＊年金や福祉手当の受取り等
- ・大切な書類などの預かり
 - ＊年金証書、不動産権利書、保険証書などの保管等
- ・日常生活に必要な手続きの援助
 - ＊住民票の届出や印鑑登録などの行政手続き等
- ・福祉サービスの利用の援助
 - ＊サービス提供事業者を選択するための情報の提供等

【利用実績】 33件

[認知症高齢者等21件、知的障害者等3件、精神障害者等8件、その他1件]

⑱ 安全・安心のための各種相談

⑱-1 心配ごと相談

民生委員・児童委員や人権擁護委員、行政相談委員を相談員として委嘱し、市民の日常生活上の相談に応じ助言などを行った。相談員は各地区9名ずつで、計27名。

【相談件数】 20件

【実施回数】 28回（月3回・各地区1回ずつ）
※コロナウイルス感染拡大防止のために8回中止した。

【実施場所及び開設日】 根上地区…根上窓口センター／毎月25日
寺井地区…寺井地区公民館／毎月5日
辰口地区…辰口福祉会館／毎月15日
（休館日の場合、開催日の変更あり）

・心配ごと相談所相談員研修会を開催した。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Zoomによるオンラインでの開催。

【開催日時】 1月22日(金) 13:30～14:30

【内 容】 「寄り添い支援のあり方」

講師：金城大学社会福祉学部社会福祉学科
教授 内 慶瑞 氏



相談員としての心構えや、相談技法を学びました。

⑱-2 弁護士無料法律相談

【対象者】 市民、市内に勤務の方（1名約30分の相談時間で、1日4名までとする。）
【要事前予約。相談は来所で行う】

【実施時間】 毎回 13:30～15:30

【利用者数】 114名

【実施回数】 31回(月3回)
※コロナウイルス感染拡大防止のために5回中止した。

※開設日、開設場所については、その都度、市広報「のみ」、社協広報誌「ほほえみ」に掲載し周知をした。

⑱-3 行政書士無料相談

【対象者】 市民、市内に勤務の方（1名約30分の相談時間で、1日4名までとする。）
【要事前予約。相談は来所で行う】

【実施時間】 毎回 13:30～15:30

【利用者数】 27名

【実施回数】 10回(月1回)

※コロナウイルス感染拡大防止のために2回中止した。

※開設日、開催場所については、その都度、市広報「のみ」、社協広報誌「ほほえみ」に掲載し周知をした。

⑱-4 能美市福祉資金

市社会福祉協議会の福祉の貸付制度で、資金の貸付と必要な援助及び指導を行うことにより、世帯の経済的自立と生活意欲の助長並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるようにすることを目的とする。

【対象者】能美市に住所を有する低所得世帯、身体障がい者世帯、知的障がい者世帯、精神障がい者世帯、高齢者世帯などで、市社会福祉協議会長が必要と認め、他から資金の融資を受けることが困難な世帯

【貸付限度額】原則として一世帯200,000円（無利子）返済計画に基づき償還

【利用件数】 8件

⑱-5 石川県生活福祉資金

資金の貸付と必要な援助及び指導を行うことにより、世帯の経済的自立と生活意欲の助長並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるようにすることを目的とした石川県社会福祉協議会の資金貸付制度。市社会福祉協議会は、市内における利用申請、償還支援、連絡調整を行っている。

※貸付の条件や限度額等については、資金種類によって異なります。

【対象者】他からの借入が困難な収入が少ない世帯、身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳を持っておられる方の世帯、65歳以上の介護が必要な高齢者と共に生活している世帯

【利用件数】 61件

・福祉資金・教育資金（教育振興金）・緊急小口資金	41件
・総合支援資金	15件
・離職者支援資金	3件
・臨時特例つなぎ資金	2件

【新規相談件数】

貸付種類	件数
総合支援資金	0件
福祉資金	3件
教育支援資金	1件
不動産担保型生活資金	0件
合 計	4件

【延相談件数】 22件

※《新型コロナウイルス特例》緊急小口資金・総合支援資金

石川県社会福祉協議会では、令和2年3月25日より、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合の費用や、失業等により生活再建までの間に必要な費用の貸付を実施している。市社会福祉協議会では相談や申請受付を行っている。

【対象者】

新型コロナウイルスの影響を受け、休業や失業等により収入の減少があり、日常生活が困難となっている世帯

【申請件数】

貸付種類	申請件数
緊急小口資金	209件
総合支援資金	105件
総合支援資金（延長）	47件
総合支援資金（再貸付）	31件
合 計	392件

【延相談件数】 939件

Ⅵ 在宅福祉サービスの提供

⑪ 福祉移送サービス(外出支援サービス)

一般の交通機関の利用が困難な方に、リフト付き車両による通院などの送迎サービスを行います。

- 【対象者】常時車いす利用者で、一般の交通機関を利用できない方
- ・重度身体障害者（身障手帳1.2級所持者）
 - ・その他、心身に何らかの障がいのあるおおむね65歳以上の高齢者

内 容	実 績
当該年度登録者数	19名
延利用回数（片道を1回とする）	117回
稼働実日数	58日

⑫ たすけあい・ライフサポーター(訪問型サービスB)派遣事業

要支援者・基本チェックリストによる事業対象者に対し、自立支援を目的とした日常生活上の生活支援を行います。

- 【対象者】原則一人暮らしの方で、要介護認定、要支援1・2および事業対象者で生活援助が必要とケアプラン会議で認められた方

【実利用者】5名

【延べ派遣回数】118回／年

Ⅶ 能美市社会福祉協議会 お問い合わせ先一覧

●〒923-1121 石川県能美市寺井町た8番地1
『ふれあいプラザ2階』

・法人事務局

TEL：58-6200 FAX：58-6250

・ボランティア・コミュニティ活動支援センター

TEL：58-6200 FAX：58-6250

・ファミリー・サポート・センター

TEL：58-6230 FAX：58-6250

・寺井あんしん相談センター

TEL：58-6117 FAX：58-6733

・くらしサポートセンターのみ

TEL：58-6603 FAX：58-6733

・能美居宅介護支援事業所

TEL：58-6005 FAX：58-6733



**令和2年度
地域福祉・ボランティア・在宅福祉
事業報告集**

発行 令和3年3月

社会福祉法人 能美市社会福祉協議会

TEL:(0761)58-6200

FAX:(0761)58-6250

能美市社会福祉協議会

<http://www.nomi-shakyo.jp>

e-mail:nomi@nomi-shakyo.jp

能美市ボランティア・コミュニティ活動支援センター

[http:// www.nomi-shakyo.jp/vc](http://www.nomi-shakyo.jp/vc)